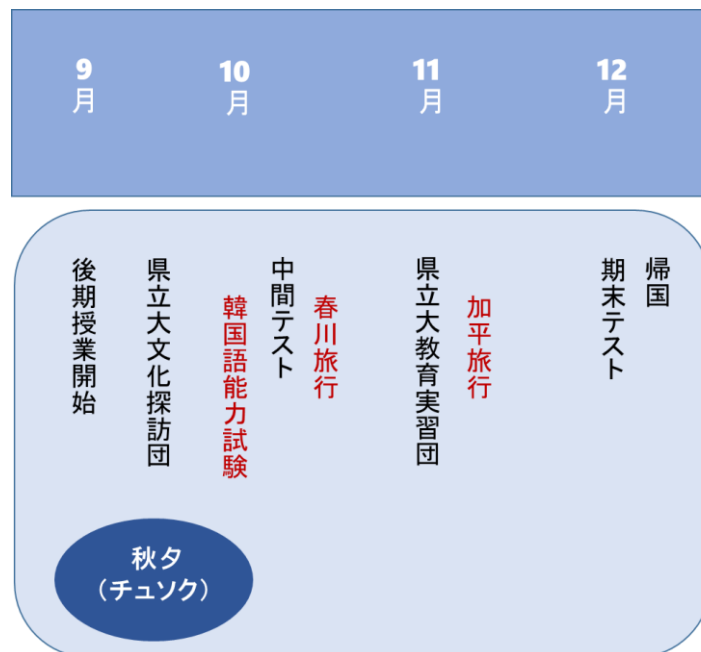




後期のスケジュールはこちらです。(黒文字は学校行事、赤文字は私個人の予定です。)



## 秋冬 (チュソク)

後期が始まって1週間も経たないうちに秋冬 (チュソク) の時期となりました。チュソクは韓国人にとって旧正月 (ソルラル) と並ぶ代表的な名節です。毎年チュソク当日とその前後1日ずつが祝日となり、2016年は9月15日 (木) がチュソク当日であったため、9月14日 (水) ~9月16日 (金) までが休みとなり、土日も含め5連休の大型連休となりました。チュソクには親戚が故郷に集まって先祖の墓参りをしたり、秋の収穫に感謝したりします。毎年ソウルから地方に行く高速道路は渋滞がひどいそうです。学校はもちろん飲食店もほとんどが店を閉めてしまうため、天安でどうチュソクを過ごそうか悩んでいたところ、ソウルに住む友人が家に泊めてくれることになり、3日間をソウルで過ごしました。友人宅で

はチュソクに食べるソンピョン（松餅）というお餅とお母さん手作りの韓国料理をご馳走になり、チュソクの雰囲気を味わうことができました。9月の中旬という暑くもなく寒くもないちょうど良い気候だったので、漢江でビニールシートを広げてピクニックもしました。



## 韓国語能力試験

韓国語能力試験は韓国語を母国語としていない外国人と在外韓国人を対象に実施されている試験で、日本では年に3回行われます。韓国では年に6回行われ、私は第48回10月16日に実施された試験を受験しました。天安には試験会場がなかったので、隣町の牙山市（アサンシ）の선문대학교（ソンムンデハッキョ）までバスに乗って行きました。会場には日本人がとても多く、忠清南道にもこんなに日本人がいたのか！と驚いたのを覚えています。試験は筆記、聞き取り、作文の3つの項目から構成されており、初級の1級から高級の6級まであります。祥明大学では、留学生を対象としたTOPIK対策講座も行われます。自分の韓国語能力を知るためにも受験して良かったと思いました。

## 大統領デモ

10月の下旬頃から韓国ではパククネ大統領スキャンダルのお話で持ち切りでした。天安市にも大統領退陣の幕がかかっており、友人や先生方は「韓国人として恥ずかしい...」とおっしゃっていました。11月12日にはソウル光化門で100万人を超える大規模デモが行われました。2016年の韓国の人口は5000万人といわれているので50人に1人はデモに参加していることになります。ソウルでは授業の代わりにデモに参加する大学もあったそうです。高校生や大学生の参加者も多く、私の周りの友人もデモに参加していました。大人だけでなく、学生の政治への関心の高さを感じました。



## 留学生との交流

後期には留学生向けの授業を4つ受講したので、前期に比べ外国人留学生の友達が増えました。特にウズベキスタンの友達とは月に何度か学校周辺の食堂でご飯を食べたり、一緒に課題をしたりと交流を深めました。友人はとても自分の国に誇りを持っていて、ウズベキスタンの国家を歌ってくれたり、文化や風習など母国について色んな事を教えてくれました。日本についてもいくつか質問されましたが、十分に答えることができない部分もあったため、もっと母国について理解し、自信を持って紹介できるようにならなければと改めて感じました。また留学生のほとんどが母国語と韓国語に加えて、英語も勉強していて少し

は話せる、という人が多く、英語の大切さを痛感しました。

## 食文化

留学中に様々な韓国料理を食べましたが、その中で日本とは異なる韓国の食文化を知ることができました。

### 배달 (ペダル)

韓国は배달 (ペダル) という出前文化が発達しており、その代表的なものにチキン、 피자、 짜장면 (ジャジャンミョン) などがあります。その他にも짬뽕 (チムタク) という鶏の甘辛煮や보쌈 (ポッサム)、 냉면 (ネンミョン) など種類も豊富です。注文方法は電話で住所と商品名を伝えるだけと簡単で、日本とさほど変わりはありませんが、最初は韓国語が通じるか不安でドキドキしながら電話をかけていました。よく学校周辺の食堂が閉まっている日曜日に同じ留学生の内山さん、北岡さんと3人でチキンを頼んでいました。



◀チキンは骨なしと骨ありから選択可能です。

▶보쌈 (ポッサム) です。蒸した豚をポッサムキムチと一緒にサンチュに包んで食べます。



### シェア文化

韓国料理は日本に比べ大皿料理が豊富です。個人で別々のものを注文するというより一つ大皿を頼んでみんなで食べるという食事スタイルが多かったように思います。友人と食事に行っても4人で3つを頼んでシェアして食べていました。料理の量も日本より多いと私は感じていましたが、韓国人の友人には「このくらいは普通だよ。日本人は小食の人が多いの?」と聞かれるほどでした。また日本ではマナー違反とされる直箸も韓国ではマナー違反にはなりません。友人同士だけでなく先生や初対面の人との食事でも大皿を一緒について食べます。汁物も取り分けるのではなく同じ器から自分のスプーンで一口ずつ食べるので、最初は違和感を覚えました。が、すぐに慣れることができました。



右は韓国でメジャーなデザート、パッピンス (かき氷) です。これは韓国のどこに行ってもあるチェーン店ソルビンのマンゴーチーズパッピンスです。1つ1000円ほどで2~3人で分け合って食べます。日本にも最近ソル



ピンができましたが、1人1品注文しなければならず、大きさも1人用として小さめに設定してあるそうです。ここでも1つをシェアして食べる韓国と1人1人個別に食べる日本の文化の違いを感じることができます。

## 映画

留学生活後半は、聞き取り能力も上がったので何度か映画を見ました。韓国は大学生割引を使うと8000ウォン（800円ほど）で映画を見ることができます。朝早い時間帯だと600円ほどで見られることもできます。韓国では、映画中に面白いシーンは皆遠慮なく声を出して笑うのでどこか一体感もあり面白かったです。韓国人は感情表現が豊かだなと感じました。



## 留学生生活を振り返って

中学生の頃からの夢だった留学もあっという間に終わってしまいました。留学当初は自分の言いたい事を十分に言葉にできず、とても歯がゆかったのを覚えています。しかし周囲の人たちは私のたどたどしい韓国語を一生懸命聞いてくれ、一緒にごはん食べに行こう、旅行しよう、といつも私を外に連れ出してくれました。たくさんの人の助けがあったからこそ大きな苦労もなくとても充実した毎日を送ることができたのだと思います。また留学生活では授業はもちろん、友達と遊ぶこと、街に出て買い物すること、食堂のおばちゃんと会話すること、すべてが勉強でした。今まではただ毎日をぼーっと過ごしていましたが、留学中は、人生でしかも外国で自分のしたいことが精一杯できるのは今が最後かもしれない、と一日一日を大切に過ごすようになりました。それは日本に帰ってきてからも一緒に、明日すればいいや、と思うのではなく、今できることは今しよう、と物事を後回しにすることがなくなりました。正直留学を迷ったこともありましたが、海外で生活する中で言語だけでなく人の温かさや積極的に行動することの大切さを感じることができ、本当に留学して良かったなと思います。

そして、いつも私を気にかけてくださった日本語文学科の先生方や学生のみなさん、留学を快く承諾してくれ送り出してくれた家族、韓国まで会いに来てくれた友人、ここに書きき

れない程のたくさんの人に支えられ、無事に留学を終えることができました。すべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんが私を支え見守ってくださったのと同じように、私も周囲の人たちに「ありがとう」といわれる存在になればと思います。留学は終わってしまいましたが、韓国でお世話になった方々とは連絡を取り続け、これからも国際交流を行っていきたいです。